

# かお・人・interview

2021年11月24日

団体長  
インタビュー



## 電気工事業は 高い技術力で県民の 社会インフラを支える。

福岡県電設協力会 会長  
榎原俊成氏

福岡県電設協力会は、昭和47年に発足して49年。電気工事業界はAIや情報技術革新など、大きな変化に直面している。そのひとつが、担い手確保や育成である。若年層にとっても業界が魅力あるものと認識してもらえない。それには、安定した利益が重要だ。福岡県と地元業者との仲介役として奔走する榎原会長に、業界の現状と未来に向けての取り組みを伺う。

### 新年度の抱負

建設業界においては、技術者不足、担い手問題が深刻な課題になっています。決定的な解決策についてはわかりませんが、福

岡県とのパイプを強固なものにし、会員の皆さまの経営を安定させること。利益を上げることが一番です。これこそが、技術継承、事業継承につながると思います。技術や熱い思いも会社がなくなってしまう。途絶えてしまう。私たちは県民へ電気供給を安心して届け、ライフラインを支えなければなりません。だからこそ、若年層が関心を寄せる魅力ある業界、それを創り上げたいと思います。

### 協会の業務概要

昭和47年11月24日に、福岡県における電気設備工事に協力し、会員相互の技術の向上と繁栄を図ることを目的として設立し



▲福岡県防災訓練

運送業の増加が目立ち始めています。状況の変化に、電気工事業界の対応能力が求められてきています。人材、技術者不足は深刻な問題です。電気工事には国家資格が必要ですので、外国人労働者を受け入れたいと考えていて

### 協会の事業

1. 隔月 定例理事会
2. 福岡県建築都市部との意見交換と技術協議会への開催
3. 経営及び技術に関する講習会・研修会  
((一社)福岡電業協会、(一社)日本電設工業会との連携)
4. 福岡県防災訓練への参加 など

も、まず日本語で資格取得が義務となります。また、資格を取得しても、数年で帰国しなければなりません。国家資格は電気工事業界を守ってきましたが、担い手に関しては、それが大きな壁になっています。将来的には、外国人の労働力を活用できるかもしれないですが、今はまだ難しい。取り組みとしては、雇用の延長と電気科以外の学校に通う学生に、電気工事の魅力伝えていきます。この活動が功を奏し、弊社にも農業科や普通科の学生が入社しました。戸惑いはあったと思いますが、新しい世界に前向きな生徒は、しっかり技術を習得してキャリアを積んでいきます。就職活動において、地元企業も選肢のひとつとして着目してもらおう。少し



◀福岡県防災訓練 応急仮設住宅設置訓練

ずつですが、効果が上がっていると感じています。担い手不足問題は一長一短に解決しません。業界全体が縮小しないように、できる範囲で対策をとっていきます。

### 今年度の事業計画

年間の活動としては、隔月の定例理事会、関係当局への要望書提出、関係当局と要望書に対する回答会、関係当局と各支部毎の技術協議会、経営及び技術に関する講習会・研修会、(一社)福岡電業協会(二社)日本電設工業会との連携、定時総会及び意見交換会、福岡県防災協定締結を機としての防災訓練等への積極的な参加を行っている(平成29年7月九州北部豪雨にて県からの要請により東峰村に出動しました)

### 県に対する要望

適正価格・適正工期等の要望をあげて、発注方法等の改正をお願いしたいと思います。電気設備工事は建築工程に大きく左右され、終盤になつての工期遅れが品質確保に大きな影響を及ぼします。分離発注の推進、書類の簡素化等、解決すべき問題はいくつもあります。また、



九州北部豪雨災害義援金 寄付

ました。令和3年3月現在の会員数は277社。福岡支部111社、北九州支部59社、筑後支部74社、筑豊支部33社となっています。会員は福岡県有資格者登録の電気設備工事会社で構成され、電気を安心して届けられるよう、日々研鑽しています。

### 団体を担って意識していること

福岡県と会員とのパイプ役を担い、電気工事業全体の底上げを図りたいと思っています。受注力を上げるには、会員の皆さまがもつ技術力向上がカギになります。協会から情報を受け取るだけでは、受注につながりません。成績評定点を上げ、受注を増やすための課題を学ぶ必要があります。それが、受注につながり、電気工事の地位向上となります。

また、近年は事業を継承できず、廃業するところも増えてきました。会社を引き継ぎたい、魅力ある電気工事業の場を作る必要があります。安定した受注こそが、事業継承の道を作ります。電気工事は町の発展はもとより、社会インフラと安全・安心な暮らしを支えるやりがいのある仕事です。高い技術力と経験豊富な知識は、受け継がれるからこそ生きてきます。

### 業務の課題と未来

近年コロナ禍によって発注形態が変わってきました。コロナ以前は、インバウンド客を意識した工事が多くありました。ところが、コロナ以後は、物流倉庫、

技術力向上のため、県のご指導等、しっかり意見交換の場で伝えたいと思います。

電気工事は生活と社会インフラを守り支える必要不可欠な仕事です。今後も重要性は高まっていくでしょう。技術革新の波はありますが、国や福岡県などの指針を見通しながら、勉強会を行い、技術をさらに磨いていきたいと思っています。

### 趣味や健康法、特技など

趣味はウォーキング、登山、パン屋巡りです。体調管理で始めたウォーキングは、気軽に続けられるように、通勤時間を利用していきます。大雨など、荒れた天気以外は、片道40分を歩いています。約10年続けていますので、歩くことが日常になっています。パン屋巡りについては、通勤以外のウォーキングに、目的があるとやる気がでると思いはじめました。新しいお店の発見や、お気に入りのパンなど、自分なりのこだわりをもっています。

登山は大分県久住によく登ります。どの季節に訪れても、自然を堪能できるので飽きることはありません。



PROFILE  
福岡県電設協力会 会長、(一社)日本電設工業協会九州支部副支部長、(株)平和電興 社長。福岡県出身、1961年生まれ60歳